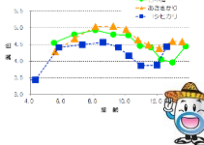


2024年度 日本晴(移植)栽培ごよみ



JA 越前たけふたけふ
丹南農林総合事務所

月旬別	4月			5月			6月			7月			8月			9月																				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬																		
時 期				育苗期			田植期	活着期	有効分げつ期			無効分げつ期			幼穂形成期			出穂期	登熟期			収穫期														
水管理				代掻き			田植え			浅水管理で分げつ促進			中干し			間断通水（田んぼに水を）						稲わらの 鋤き込み 土づくり														
ポイント	注意点① 過繁茂防止のため 坪当たり50～60株とする 細植え・疎植の方が安定した 収量(補数)が確保できる						注意点③ いもち病 抵抗性は中程度、通常 の防除は必要 紋 枯 病：過剰生育になると多発を 招くので注意			注意点④ 分施の場合、穂肥の タイミングは 1回目 幼穂長2mm 2回目 その10日後						注意点⑥ 補数が多く登熟歩合は高い 千粒重が重く収量は コシヒカリの1.1倍～1.2倍																				
				注意点② 移植時期は全域で5月11日以降 比較的茎数は確保しやすいため 初期生育段階での多肥は禁物！！ 基肥窒素成分4.5kg／10a程度												注意点⑤ 栽培期間中の葉色は濃く推移 特に、幼穂形成期～出穂期の 葉色を落とさないように！！			注意点⑦ 登熟期間が長い(45日間)ため、早刈り、 早期落水を行わない 間断通水を出来るだけ遅くまで行い、胴 割れ回避のため適期刈り取りを心がける 成熟期の目安は9月25日頃																	
管理作業	浸種・催芽 (播種量目安 乾籾140g／箱)			苗箱施薬による病害虫防除 (播種時・移植当日) ヨーバルプライムEV箱粒剤			遅れずに除草剤を散布 (田植同時除草剤等)			遅れずに強めの中干し (茎数25本／30本／株程度)			幼穂の確認 幼穂長2mm			出穂直前 病害虫防除			穂揃い期 病害虫防除			仕上げ防除(臨機)			間断通水 (収穫2日～3日前まで)			見た目(葉色)で判断しない 籾水分25%以下で収穫 (9月25日前後目標)			目標収量 10俵/10a			土づくり資材の散布 1.9mm網目で丁寧な選別		
肥料	・主な施肥体系(10aあたり) (土づくり) ミネラルPK 60kg (一 発) 日本晴588 40kg(10.0kg) (分 施) こだわり基肥201 40kg(4.8kg)			・ケイ酸質資材 けい酸加里 20kg もしくは カリ投げくん 200g×20個 ・リン酸・加里の補給に ミネラルPK 20kg／10a			・穂肥①(分施の場合) こだわり追肥570 15kg(2.25kg)			・穂肥②(分施の場合) こだわり追肥570 15kg(2.25kg)			肥料窒素量合計 一発 10.0kg 分施 9.3kg			・土壌改良資材 ケイカル 500kg／10a																				
農薬	・種子消毒 温湯消毒(-成分)			・箱施薬 ヨーバルプライムEV箱粒剤(3成分)			・ヒエとりこぼし除草 クリンチャー粒剤(1成分)			・防除1回目 チームワーク粉剤(3成分)			・防除2回目 アルバリン粉剤(1成分)			・仕上げ防除(カメムシ多発時) アルバリン粉剤(1成分)			農薬成分合計 13成分																	